

中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

〈TEL〉055-997-1336

〈E-Mail〉junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

〈FAX〉055-997-5745

〈URL〉http://www.junya-susono.club/

議場に集まるメンバーは変わりましたが。。。。

平成29年度が初回定例会となる6月議会。当局側の席には新組織の各部長が並びました。一般質問では過去質問したことに対する進捗などを問うものもありましたが、混乱する事もなく答弁していました。混乱がないという事は当時と変わらないということ。市長任期も残す所あと半年となっていますが、今時点で関係する意向表明はなし。相変わらず様々な事がゆっくり流れています。裾野市時間が早まることはあるのでしょうか？次の議会は9月。決算審査が主ですが、議会人事において気になるものもタイムリミット。「1月の市長選挙動向」「副議長の任期満了」「解任させられない議長制度への対応」「市議会議員選挙1年前（定数見直し結論）」。どんどん遅れる裾野市、このままではだめだ。

6月定例会の内容をご紹介します

3月に予算が決定したばかりなので6月は議案が少ないのが通例。しかし今回はこうなりました、こうしましたという報告案件8件、国に倣って調整しましたという承認案件3件、条例改正や予算補正の議案11件と盛りだくさんでした。抜粋してお知らせいたします。

■一般会計補正予算（第1回）

毎年ある寄付の計上が今年もありました。須山地区にある幼稚園、小学校、中学校に対する寄付が須山振興財団から。深良地区の小学校、中学校に対する寄付が深良財産区からありました。委員会では、毎年行われている性質のものについては、寄付を待ってから実施ではなく、市が必要と考えているのであれば、当初予算から設定しておき、寄付があった場合は財源を振替えるという姿勢を示すべきではないか問う声がありましたが、積極性を伺える答弁はありませんでした。

要所でこういった質疑があるのですが、今の市政で特に重要なものが何なのか、市民協働と称して盛り上げたい風土や世界はどんなモノなのか、未だにイメージできません。裾野は何をめざしているのでしょうか？聞くに久しい「マンネリ化」はまだ存在しているような気がします。

【気になる報告や議案抜粋】

ア) 公用車による事故（2件）

- ・強風にあおられてしまいドアを支えきれず隣の車を傷つけてしまった。う～ん、やむを得ないか。
- ・学校の入り口で坂道発進の操作をミスし、後部が道路に出てしまい、車両と衝突。
→原因がたくさん隠れていました。同乗者は
 - ・マニュアル車を運転する機会が少ない。
 - ・同乗者による安全確認配慮なし
 - ・目的に対する使用車両のギャップ（学校への配達に敢えてトラック型を利用）

公用車を多数保有していますが、各部署単位で管理されています。部を超えて一括管理にし、目的に応じた車輛形態に整理整頓すれば、事故も車輛維持費用も減らせるのでは？今回の一般質問で井出議員がこの趣旨の質問しましたが、前進なし。

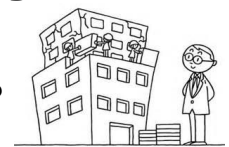
イ) 民間活力にどの位期待するのか？

指定管理を可能とする条例改正がありました。「生涯学習センター」と「文化センター内にある図書館分室」です。現在文化センターはK-MIXさんに指定管理を委託しています。そこで生涯学習センターの部屋も一括管理する事を可能とし効率の良い運用をさせるのが狙い。また本館と分室で運営時間など隔たりがあることを解決する為、図書館分室も併せて任せるものです。図書館分室はすぐ本館に対応できるように。もしかしたらもっと便利になるかも。その場合、本館もそれに習うのか覚悟を質疑した所、まだそこまでは考えていないとか。そこなんです、モヤモヤは！今の課題だけを見ず、将来も見据えて改善・改革すれば仕事も楽しくなり、質も上がる。市民が求める図書館の在り方を併せて考えて欲しいものです。



ウ) 深良中学校では・・・

工業者がやっと決まり、耐震・防水工事が始まります。完成予定は平成30年12月末。授業への配慮から、夏休み期間中に工事します。また高架水槽も撤去し、受水槽から直接水を送る工事も実施します。錆くさい水ともおさらばですね。耐震ですので窓にバッシンが入る個所ができます。建替財源はなくご容赦頂きたいと思えます。



寄付による通学路のLED化が完了。Y-CITYアルミ缶回収委員会からの174万円の寄付で深良中学校前の坂道にある防犯灯は全てLED化。



「〇〇のために使って」という寄付を（目的）指定寄付と言います。行政も意向を最大限汲みます。ふるさと納税など、寄付行為が盛んになっていますが、皆さんも地の声を聞き、寄付する際には「指定」することが、お互いに気持ちが良いと思います。ご参考まで。

議員の権利でその人の考え方が分かりやすいのが「一般質問」。自分なりの考えを大いに発信し訴える事ができる機会。それに対して市はどのように考えるかと質問しますが、そんなに簡単に前には進まず。私は、道端での会話や相談を通じて情報を得ておりますが、その夢、期待、希望、困り毎、苦痛などを組み合わせることで、それぞれが良い方に進める仕組みをつくり、その考え方を質問するスタイルが主流となりました。仕組みを動かすには、人や団体、手続き変更等の調整、その為の財源の確保まで考えるのが当たり前。そういった事を考えていると、継続されてきている今の施策の目的に疑問が次々と、、、。そういった気になる事の一部を今回ご紹介いたします。近々一般質問で取り上げます。ご意見頂戴できれば幸いです。

今回のお題は「人口減少を抑制するためには、少子化対策が必要と言う割には、、、」です。

●3年目の「学びの森事業」が気になる

裾野市では学校教育の充実を目的としてこの事業を進めています。3本の柱が設定されていますが、これらは、本当に裾野市の子供のために行われているのでしょうか？

ア) 教職員の指導力向上

本来校長や教頭が担う役割ですが、多忙化は事務にまで及んでおり手が回せない。そこで専門員を配置し、教職員育成に邁進している。

イ) 地域との連携支援

各学校に学校支援地域本部を設置、それぞれを結び情報共有して、効果的に活用できる様支援する

ウ) 学校・地域・家庭の学びの場

先生同士あるいは、保護者や地域の方が気軽に相談できる場として機能させ、教育における情報交換の場として活用。



学びの森
(生涯学習センター内)

1,400万円が本年度の事業予算。将来を担う子供に間接的には影響するでしょうが、この恩恵を被っているのは誰でしょう？ 育てているのは、県の職員でもあり、市外への異動もある先生、また地域と共にと言っても保護者との距離は縮めず、その他の方を巻き込む体系。子供の教育に直接貢献する投資へと変更すべきではないでしょうか？多忙化解消には、国の制度、県の教師配置数改善が必須。将来裾野に住み続けてもらいたい子ども達に対し、できることは何なのか、今の方向性でよいのでしょうか？

●高齢者医療費助成金が気になる。

後期高齢者医療制度において経済負担の軽減を目的として、上乗せ助成している裾野市独自の制度。つまり75歳以上の方が、病院窓口で支払っている医療費が大変だろうと、80歳以上の方には1万円、未満の方に6千円助成しています。

本年度予算3,112万円。対象約5,800人。例年3千人弱が利用し、約2,400万円がこの事業で使われています。

少子高齢化と併せ医療保険の維持が懸念懸念され、高齢者を前期・後期分離した経緯がありますが、そこに市が上乗せするのは、問題解決にならないと思っています。

- ①保険は支え合いで、年齢人口バランスにより維持するものです。上乗せはバランス解消と無関係。
- ②医療保険バランスを維持するなら、市の施策投資は別の分野に実施しなければ意味を成さない。
- ③所得制限がなく、申請ベースのこの制度。経済負担軽減が目的ならば、少なくとも所得制限し、住民税非課税世帯等に限定すべき。



如何でしょうか？賛否両論あると思いますが、今裾野市が一方向に前身しないのは、こういう現代

を生きる人へのソフト投資が多すぎて、将来に活かす投資が少ないからだと思います。自分たちもそこそこに、子どもや孫はずっと安心できるまちとして、今すべき施策とはこういった分野でしょうか？

各種活動のご紹介

総務委員会メンバーを巻き込み岩手県を視察しました。詳細はホームページの報告書をご覧くださいませ！



(総務委員会メンバー)



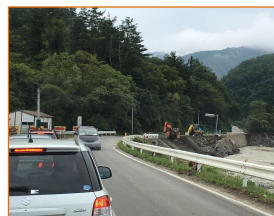
ご存知、嶽南ふるさと（富岡）地域活性化に向け、会員募集中！65の会員を更に増やし、自分たちでできることは行い、人生質を高めていく風土作りにもチャレンジ中！



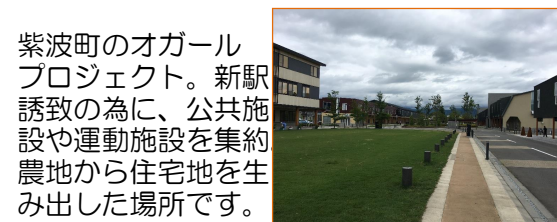
葛山地区に看板を新設しました



←盛岡市ゆびあす風呂+プール施設の熱を195tのゴミ焼却1/4で創出。裾野のゴミは65t。この規模の温水創出が可能なのか!?



↑昨年台風10号による河川被害のあった岩泉町。河川も家屋も復興はまだまだ。瓦礫も山積みでした。大雨災害は今後の大課題です。



紫波町のオガールプロジェクト。新駅誘致の為に、公共施設や運動施設を集約農地から住宅地を生み出した場所です。